

□議員名：山田伸幸

1 病院再編統合について

論点	厚労省が昨年、市民病院を名指しして再編統合の対象として、市民の中には「市民病院がなくされるのではないのか」との心配の声が上がっている。市長は市民病院の開設者として、どう考えているのか。
回答	市民が安心して豊かな生活を送るために、健康は何よりも重要で、そのためには、地域の医療が充実していかなければならない。市民病院は、医療圏において、産婦人科、透析医療など、厚生労働省の指標とする疾患以外の重要な一般急性期医療を行っており、地域にとっては不可欠な病院である。今後とも市民病院を存続させ、地域の中核的病院として地域医療を確保するとともに、市民の皆様に良質な医療を提供していきたいと考えている。

2 施政方針について

論点	人口減少について論じていたが、周辺部での人口減少が進んでいる。具体的な対策はどう考えているか。
回答	地域運営組織というものがあり、職員を決め地域課題に取り組むことも良いやり方と考えている。

論点	本市の特徴として、市民病院の産婦人科や公立保育所が地域ごとにあること、医療と福祉の充実など子育てからシニア世代の幅広い世代に向けた魅力発信に取り組んではいかがか。
回答	シティセールスに取り組んできたが十分な成果が出ていない。課題への取り組みを強化していきたい。

論点	埴生地区の宇宙監視レーダーについて、市は「国の専管事項」としているが、阿武町の町長はイージスアショア配備に明確に反対を表明している。本市は宇宙監視レーダーが全く危険性はないと思っているのか。
回答	当該施設に意見を述べる立場にない。住民生活への影響については考えたい。防衛当局には住民に対するていねいな説明を求めている。

論点	イージスアショアの想定距離は 2000km だが、宇宙監視レーダーは 4 万 km と 20 倍だ。イージスアショアの保安距離は 700mと言われているが、埴生地区では 700mあたりに民家や小学校まである。テロの標的になるかもしれない。国の専管事項と言って逃げるのは自治権の放棄ではないのか。
回答	住民や市民の不安があることは承知している。指摘はしっかりと受け止め、防衛省にていねいな説明を求める姿勢で行く。

3 小野田中央青果の決算報告について

論点	小野田中央青果の決算報告を 6 月議会で行っているが、会計の外部監査において厳しい指摘がされているが市の受け止めはどうか。
回答	報告内容は計上額に相当な開差が生じているとして「法人の体をなしていない」とされた。今後は市の監督を強化し、財務管理について指導監督していきたい。

論点	そのようなものを議会に報告したことはどうなのか。
回答	株主総会において会計報告が承認されてばかりであり、信用して報告した。

論点	決算書には差入保証金とあるが、差入先は保証金となっている。明らかに違っているのではないのか。
回答	勘定科目の変更について税理士と相談したが、難しいと言われている。